

提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	提出された意見		意見に対する考え方
	項目	要旨	
1	計画のテーマ	<p>「5教振」のテーマ「『いのち』そして『学び』と『かかわり』」は、今後も引き続き堅持することだが、「かかわり」は「つながり」に変更すべきだ。</p> <p>人間同士の関係が希薄化し、いきすぎた個人主義や匿名社会が反省されている今、時代が求め、必要としているのは「つながり」ではないか。そうした潮流は、最近よく使われる連携・協同・共育・絆といった言葉にも現れていると思う。</p> <p>「かかわる」ことが目的であるかのように、子供や教師が誤解することが心配だ。むしろ、「かかわって、どうつながったか」を、検証していくべきである。「かかわり」はあくまで手法であって、「つながり」こそが大切な目的ではないか。</p>	<p>人間関係の希薄化が社会全体に蔓延する現代社会にあっては、まずは子どもたちが主体的に他とのかかわりを持つようとする意欲や態度を養っていくことが重要です。同年齢や異年齢の子どもたち、地域の人々など様々な人と積極的にかかわって、活動を共にすることにより、思いやりや協調性、社会性などを身につけ、人間としての生き方を学ぶことができるようになります。</p> <p>こうした多様な人々との相互交流を繰り返すことによって、「つながり」が生まれてくるものと考えています。</p>
2	目標指標	<p>定期的に目標指数の推移を確認できるシステムがあれば、取組みの更なる活性化が図られると思う。</p>	<p>今回の見直しで新たに設定することとした目標指標については、それぞれの施策が目指す目標に対する達成（進捗）度合いを把握するための「測定指標」として捉えており、毎年その状況を把握しながら、取組みの改善を図るなど有効に活用していきます。同時に、これら目標指標の達成が、目的に替わることはないよう、十分留意していきます。</p>

提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	提出された意見		意見に対する考え方
	項目	要 旨	
3	重点施策と施策項目	<p>重点施策のテーマ「変化する時代を主体的に生きぬく力」のために大切な力は、「心の強さ・美しさ、頼もしさ、自己実現、自信、自立、意欲、向上心」といったものだと思うが、「個別の施策項目」の内容は、これらの力をはぐくむ手法として、少し心もとないように感じる。</p> <p>例えば、「読書、体験活動、スポーツ、キャリア教育、コミュニケーション教育」といった手法が記されているが、これらをどう結びつけるかという理念・目的、方法論が不十分だ。これらは、従来も力を入れて実施してきたものであり、その検証や反省点をきちんと踏まえなければ、大きな効果は期待できない。これらの育成に大切なものは、「憧れ（または尊敬）」と「勇気づけ（または価値づけ）」であり、これらをどう活かしていくかについて、理念・目的、あるいは方法論として明記すべきではないか。</p>	<p>変化する時代を主体的に生きぬく力を育成するためには、個に応じたきめ細かな指導等を通して基礎的・基本的な知識・技能を習得・定着させることはもちろん、様々な体験等を通して自信をつけながら、コミュニケーション能力、社会性、勤労観等をはぐくむことが重要であります。これによって、生涯にわたり学び続け、意欲的に人生を切り拓いていくことができる、力強い人間を育てることができると考えています。</p> <p>そのためには、まずは、様々な学習や体験活動を通して自分自身に自信を持つこと、そして、キャリア教育等を通して「学び」に対する動機付けをしっかりと行い、仲間同士の学び合い、教え合いを通して、自らの「学び」を深めたり、やる気を高めたりすることが大切だと考えています。</p>
4	重点施策 1	<p>新たにカリキュラムを増やすよりも、現行の道徳教育を充実させるべきだ。道徳の副読本には「いのち」や「生き方」に関わる教材もいくつかあるが、そのような教材を増やしていくべきであり、できるだけ実話を取り上げ、子どもたちが実感を伴えるようにしたい。</p> <p>ゲストティーチャーなども取り入れるべきと思うが、そのゆとりがないのが現状だ。</p>	<p>「生命」の大切さを学ぶ教育プログラムは、新たな内容を増やすのではなく、新学習指導要領に基づき、教科・道徳・特別活動の中で扱われている学習内容を、幼稚園から小学校、中学校、高等学校と体系的に整理したいと考えています。</p> <p>さらに、地域や学校、子どもの実態に応じた特色のある学習ができるよう、総合的な学習の時間で扱うことなども整理していきたいと考えています。</p> <p>また、学校・家庭・地域の連携も不可欠でありますので、幼児期の段階からどのような点に留意して連携していくべきか等についても、整理していきます。</p>

提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	提出された意見		意見に対する考え方
	項目	要旨	
5	重点施策3	学校研究のテーマが変わると、それに連動して重点的な活動も変わることが多いが、重点施策に位置付けた読書活動の取組みが一過性のもので終わることのないようにしてほしい。	読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力や想像力を豊かにするだけでなく、読書によって得られた読解力や思考力、表現力は、自ら課題を見つけ解決しようとする力の向上にもつながります。特に、読み聞かせなどの幼少期における読書体験は、生涯にわたる学びの基盤となる重要なものであり、積極的に推進していきます。その際、日常生活においてごく自然な活動として読書が定着するよう、読書の習慣化、学校及び地域の図書館機能の充実など、学校、家庭、地域が連携して取り組んでいきます。
6	重点施策4	「豊かな心」は、道徳の時間などだけではなく、体験を伴った行事等ではぐくむことができるものだ。必要な行事を精選し、じっくりと時間をかけて取り組むことによって、もっと子どもたちに「考えさせ」、ときには「失敗させ」、「学ばせる」時間が持てる。「中間まとめ」にもあるように、私も、行事や教育活動の精選が必要だと思う。	体験はまさに「学び」の出発点であり、五感を通して思考を活性化し、学ぶ喜びや意欲を高めます。こうした体験活動をはじめ教育活動全体を通して、自然や社会、人々とかかわり、感動したり、困難に直面し葛藤したり、解決策を模索したりしながら、豊かな人間性をはぐくんでいきたいと考えています。
7	施策項目1	いじめによる自殺など、事件が起きた後の対応や注意喚起では遅い。「いのち」あってこそ、失敗してもやり直しがきき、新たな人間関係をつくることができる。文学的な表現がやや強い命のとらえ方が見られるが、現実的な側面も加味したとらえ方に修正してはどうか。	「5教振」の中心概念である「いのちの教育」の「いのち」という言葉には、「かけがえのない生命（せいめい）」と「人間としての生き方」という二つの意味を込めています。生命の安全や健康はもとより、豊かな心やたくましい体をはぐくみ、精一杯生きようと努力する人間を育成していきたいと考えており、これは、今回の見直しによっても変わるものではありません。 今回の見直しでは、新たに「自分には良いところがあると思う児童生徒の割合」という目標指標を掲げており、自らの存在を肯定的にとらえ、未来に向かって主体的に生きる子どもたちを育成していきます。

提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	提出された意見		意見に対する考え方
	項目	要旨	
8	施策項目 2	<p>家庭の教育力を高めるためには、小学2年生あたりまで、「乳幼児検診」のようなことを拡大して実施してはどうか。小1プロブレムなども、幼保小の連携だけでは解決しない。家庭が基本だ。学校と家庭の連携が必要不可欠であり、その家庭の教育力が低い場合（親の意識が低い場合）、いくら学校が頑張っても限界がある。家庭の教育力を高めることが必須だ。</p>	<p>少子化、核家族化、地域の人間関係の希薄化等、家庭を取り巻く環境の変化に伴い、子育てに悩みや不安をもつ親、子育てに無関心な親等の増加が、家庭の教育力低下につながり、様々な問題（児童虐待、少年非行等）を引き起こす原因になっているケースがあります。これらを直ちに解決するのは困難ですが、家庭教育に関する親の学習機会や個別の相談機会、情報提供を充実・継続させていくことが重要であると考えています。</p>
9	施策項目 2	<p>講座に参加したり、学校からの配布物を読んだりする家庭は、問題のない場合が多い。問題なのは、講座があると知っていても参加しない、学校が協力を求めている配布物に目を通さない家庭だ。ネット、携帯、テレビ等の弊害については、親自身もそのような環境で育ってきているので、「教えてもらわなくてもわかる」と「知っているつもり」なのかもしれないし、忙さもあると思う。難しいとは思いますが、ときには参加することを義務化した講座なども必要なのではないか。</p>	<p>本県では市町村と連携し、「すべての親等に対する家庭教育に関わる学習機会の提供」として、主に小学校を会場に、講演会の開催の他に、座談会やワークショップ等、子育ての実践や悩み等の話し合いを通して、親同士の交流も図る『やまがた子育て講座』を実施しており、今後は、幼稚園や保育所等への拡大も検討したいと考えています。さらに、企業等を訪問しての家庭教育出前講座や家庭教育支援者（幼稚園教員、保育士、教員、子育て支援者等）の資質向上のための研修会等も充実していきます。</p>
10		<p>保護者が、学校や担任を信頼し「まかせる」という意識から、「一緒に」という意識に変わっていくための具体案を求めたい。</p>	
11	施策項目 4	<p>読書活動は充実していると思うが、学校においては、読書をするための時間が不足していると実感している。高学年の子どもたちは、学校でも、家に帰ってからも、忙しい様子が感じられる。</p>	<p>読み聞かせなどの幼少期の読書体験は、生涯にわたる学びの基盤として重要なものと考えており、日常生活の中でごく自然な活動として読書が定着するよう、その習慣化などに取り組んでいきます。</p>

提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	提出された意見		意見に対する考え方
	項目	要 旨	
12	施策項目 5	<p>自尊感情をはぐくむためのコミュニケーションのあり方についての研修の必要性を感じる。今後も、意識して実践にあたりたい。</p>	<p>コミュニケーションは、人間関係を豊かにして自尊感情を高め、それがコミュニケーションを更に活発にするという相乗効果を生みます。学校における仲間との関わりや親子・家族の対話、地域における大人との交流など、生活のあらゆる場面においてコミュニケーション能力が育成されること意識しながら、研修にもしっかり取り組んでいきます。</p>
13	施策項目 7	<p>少人数学級により、生徒指導面、学力面で効果を収めたが、「分からなくても」、「できなくとも」なんとかしてくれるという、甘えの面も出てきているのではないか。競争する力の育成も大切だ。</p>	<p>少人数学級編制は、学習集団と生活集団の一体化を基盤とした個に応じたきめ細かな指導を通して、「勉強がわかる、学校が楽しい」と実感する児童生徒の育成を目指しています。一人ひとりの学習状況を的確に把握しながら基礎・基本の徹底を図るとともに、仲間との学び合い（切磋琢磨、支え合い）を通して、意欲的な子どもたちの育成に取り組んでいきます。</p>
14		<p>子どもの指導に情熱を燃やしているすばらしい教員も多い。スーパー・ティーチャーとして、所属学校にとらわれないフリーな立場で勤務できるような制度ができないか。また、退職したベテランの先生の活用の幅も広げてみてはどうか。（理科支援員はとても良い制度である。社会科にも広げられないか。）</p>	<p>御意見の趣旨は、初任者の研修に当たって実施している「拠点校指導教員」（拠点校（自分の勤務する学校）の初任者と、他の学校（兼務校）の初任者の指導に当たる教員）のようなイメージかと思いますが、各学校が抱える様々な教育課題や当該教員の勤務条件等を総合的に検討する必要がありますので、今後の検討課題とさせていただきます。</p>

提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	提出された意見		意見に対する考え方
	項目	要 旨	
15	施策項目 7	子どもたち個々の能力を最大限に伸ばすには、それに関わる教員の数を増やすことが急務だ。	<p>現在、小・中学校においては、本県独自の施策である教育山形「さんさん」プランにより、少人数学級編制だけでなく、学年単学級で34～40人の場合はチーム・ティーチング等の少人数指導ができるように教員の配置を行うほか、喫緊の課題への対応として「小学校低学年副担任制」、「小5～中1までの重点教科充実制」、「別室登校学習支援員の配置」を実施しております。</p> <p>このほか、スクールカウンセラーや教育相談員等を配置して、児童生徒の心のケアにも対応しているところであり、学校の実情をしっかりと把握しながら、今後とも適切な教員等の配置に努めます。</p>
16		小規模校では人間関係が固定され、中学校では部活動すら自分の好きなものを選べない現実がある。学区再編が無理ならば、「交流」を通して、一定の数で行うことの素晴らしさを体験できるシステムを構築できないか。	<p>御意見のとおり、一定数で行う学習については、大切なものであると思いますが、学校教育の中で取り組むとなると、各学校の実情や抱えている課題等も異なり、困難であると考えています。</p> <p>なお、生涯学習の観点では、学区にとられない活動が行われており、総合型地域スポーツクラブなども設立されておりますので、そうした取組みを推進してまいります。</p>
17		「自ら問題を発見し、考え、判断し、主体的に解決していく問題解決能力の向上」を目指した学習、対話的な学習の必要性に、共感する。そのような授業ができるよう、実践・研修を深めていきたい。	自ら問題を見つけ、主体的によりよい解決を目指す力の育成に向け、総合的な学習や体験・探究型の学習、対話を通じた学習に取り組むとともに、学習意欲の向上にも積極的に取り組んでいきます。
18		将来の夢を語るができない子どもたちが多いというのは、その親世代が将来に対するビジョンを描くことができないことによる。子どもたちが将来、市民として十分な役割を果たし得るよう、学校教育の役割としてシチズンシップを身に付けさせる必要がある。	改訂された学習指導要領においても、よりよい社会の形成に自ら参画していく資質や能力を育成することが重要視されており、「模擬投票」や「模擬裁判」、「まちづくりへの提言」など、より実社会に近い形での体験的学習を通して、児童生徒が責任と自覚を持った市民となれるような取組みを進めてまいります。

提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	提出された意見		意見に対する考え方
	項目	要 旨	
19	施策項目10	山形の良さ、山形の伝統・歴史に根ざした「やまがたの人間の資質・能力」を再度見直し、精査する必要があると感じる。何が良さで何が課題なのか、その課題は何と比較しているのか、といった点での再度精査が必要ではないか。それが、発達段階に応じて積み上がっていくプログラムになればいいのではないか。例示を挙げれば、神戸市の「キャリアスタートウィーク」や群馬県の「尾瀬学習」のようなものだ。	<p>本県には、厳しくも豊かな自然の中で、「いのち」を大切にすることを人間の生き方として大切にしてきた精神文化が息づいており、これが「いのちの教育」の基盤となっています。そして、戦前からの初等教育に対する県民の高い意識は、今日の教育山形「さんさん」プランに、地域コミュニティを基盤とした活発な青年団活動は、山形方式と称される地域青少年ボランティア活動へと姿を変え、受け継がれています。</p> <p>こうした全国に誇れる山形の伝統や実践を基盤としつつ、学ぶ意欲や問題解決能力、コミュニケーション能力の向上といった課題についてももしっかり取り組んでいきます。</p>
20	施策項目13	高校再編整備計画に基づき、谷地高校も平成25年度からキャンパス制が導入されるが、来年度から本格的にはじまる構想段階では、「5教振」の基本方針のほか、今回の見直しで新たに示された重点施策を踏まえ、学校の特色を打ち出していくことが肝要だ。	<p>キャンパス制の導入にあたっては、それぞれの高校の課題解決が図られ、特色が活かされるよう、当該校間で運営準備委員会を設置し協議することとしており、進学指導の充実や産業について幅広く学ぶことのできるカリキュラムの編成、生徒会や部活動等での交流を通じた豊かな人間性の育成など、特色ある学校づくりが推進されるものと期待するところです。</p>
21	施策項目15	輝いている大人は沢山いるが、残念なことに、児童生徒からは、そのような大人はなかなか見えない。輝いている大人を身近にすると、子供は何よりも成長する。そういう意味でも、輝いている大人と児童生徒が（かかわるのではなく）もっとつながるような教育施策を追加してほしい。	<p>御意見のとおり、子どもたちは様々な人間と出会い、「かかわり」をもって成長するものであると思います。この「かかわり」とは、濃淡はあれども子どもたちの心を揺さぶる出会いのことです。</p> <p>児童生徒にとって、保護者以外で最も身近な存在は教師であると思います。その教師が輝いている存在となる学校教育となるように、魅力ある教師、学び続ける教師の育成に努めてまいります。</p> <p>また、社会教育では、子どもと様々な大人のかかわりにより実施される「放課後子ども教室」などの青少年対象事業などの充実を図ってまいります。</p>

提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	提出された意見		意見に対する考え方
	項目	要 旨	
22	施策項目 2 1	教員個々の適性・志向性を考慮して、学校経営、教科指導など、それぞれのスペシャリストを採用、育成していくシステムが必要ではないか。	地域のニーズと実態を踏まえ、地域との関わりの中で学校教育を活性化することのできる高度な専門性を身に付けた教員を養成するため山形大学教職大学院と連携して、学部修了生はもとより現職教員の専門性向上にも積極的に取り組んでいます。
23	施策項目 2 2	教員の教職に対する意識が変化してきている。俗にいう「サラリーマン教師」。誰もが志を持って教職に就いたはずであり、その初心を思い出すことこそが現場の教員の資質向上策につながる。	よく「教育は人なり」といわれますが、教育には、教員の日常の生き方や人格そのものが大きく影響します。人間性豊かで高い力量を備え、子どもに真摯に向き合う教員の授業は、子どもたちを引き付け、その心に響くものです。子どもたちをより深く理解しようとしたり、よりよい授業に向けて教材研究を深めたりする姿勢が、教員としての力量を高めることにもつながります。教育センターが実施する各種研修や、校内研修等を通して、常に自らを見つめ直し、学び続けるような、真の教師の育成に取り組んでいきます。
24		児童生徒の最も身近にいる大人は教師だが、児童生徒は「うわべのこと」しか知らされていない。教師は、自らの思いを、価値を、人生を、真理を語るべきだ。そういうことが可能となるような教育施策を追加して欲しい。	
25		教育の営みというものは、教員が自らを磨き続けることでしかできないものであり、いい意味でその背中で教員とわかる、そんな生き方をする気持ちが必要だと、しっかり全国に向けて発信すべきだ。	
26	施策項目 2 3	管理職に魅力を感じない教員がとて増えているが、今年度から導入された自己推薦制は評価したい。さらに、公正な内容のもの、現場の実務能力のある人物の採用ができる内容に進化できると期待している。	管理職登用の自己推薦制については、教員の意欲を高め、キャリア形成に一定の効果があるものと期待しており、今後、その状況を見極めていきたいと考えております。

提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	提出された意見		意見に対する考え方	
	項目	要 旨		
27	施策項目23	現場の教員が、社会とかかわり、いろいろな資源とリンクしながら実践を深めていくためには、あと少しばかりのゆとりと、ほんのちょっとの充実のための心がけが必要だ。	ゆとり創造については、現在、「教師のゆとり創造アクションプログラム」（計画期間：平成20年度から平成22年度まで）に基づき、多忙な状況と多忙感の軽減に向け、これらの要因に応じた各種の取組みを進めているところです。現在、現行プログラムの成果と課題を整理しながら、教員が教職に対する誇りややりがいを感じながら、子どもとじっくり向き合うことができるよう、効果的な方策の検討を進めているところであり、来年度以降、具体的に実践していきます。	
28		研修や教員評価、事務、地域・保護者からの様々な要請が多く、ゆとりがないのが実情。今まで学校が（担任が）引き受けてきた仕事を、もう少し厳選する必要があるのではないか。もっと、教師自身が学びたいと思えるような環境づくりが必要だ。		
29		「ゆとり創造デー（定時退勤）」はありがたいが、結局膨大な仕事を持ち帰ったり、翌日にしわ寄せがいたりしがちだ。優先順位のつけ方や要領の悪さもあると思うので、効率化できるものと、じっくり取り組むものを区別して、「ゆとり」をもてるようにしたい。		いわゆる「ゆとり創造デー」については、従来の「定時には帰宅しない」という習慣を断ち切るとともに、「定時までには仕事を終わらせよう」とする意識から効率的な仕事に取り組むようになったり、帰宅後新たに何かに取り組む習慣を持ったりするきっかけになったりなど、ワークライフバランスを進める上で、その効果は大きいものがあると捉えています。
30		教員の多忙化解消についての配慮があり、ありがたいが、教職員評価は、意欲向上よりも多忙化に拍車をかける状況にある。教職員評価の継続についての再検討を希望する。		教職員評価制度については、教員の資質向上や学校経営への参画意識の向上、メンタルヘルス・サポート等、さまざまな効果が認められており、これまでの課題を分析し、よりよいものとなるよう、改善を加えていきたいと考えています。
31		人事評価システムは機能しているのか。評価のための評価になっていないか。また、業務改善のための削減評価が、逆に業務を増やすことになっていないか。		

提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	提出された意見		意見に対する考え方
	項目	要 旨	
32	施策項目 2 6	県内には、山形盆地断層帯のような活断層の直上に位置する学校が複数ある。耐震性がある建造物でも、断層運動による地盤のずれ（変位）には、活断層の直上にある場合、被害は避けられない。移転が困難であれば、「学校における危機管理の手引き」の活用など、学校毎の安全教育の充実が大事になると思う。	各学校において、「学校における危機管理の手引き（学校安全編）」等を参考にしながら、地震対策をはじめ災害安全に係る安全教育と、地域と連携した安全活動の充実に取り組んでいきます。
33	施策項目 2 7	教育の現場で起きていることを汲み取り、いかに教育行政に反映させ発信していくか、県民の理解と共感を得られるようにしていくかが、県教育委員会としての最重要項目だと思う。	教育に対する県民の信頼と期待に応え、適正で開かれた教育行政を推進するため、教育に関する情報を幅広く県民に提供するとともに、県民の意向や学校現場の実情を的確に把握してまいります。
34		「5教振」の内容を、学校現場で活かしていく（児童会の目標や学年・学級目標にも見えるようにする）ことが大切だ。教師が意識することで、子どもたちが無意識のうちにでも感じ取ってくれることが必要だ。	「5教振」に盛り込んだ内容を各学校等で具体的に実践してもらうため、あらゆる機会を捉えてその周知に取り組むとともに、リーフレットを各教員に配布したいと考えています。